

新製品

2010年3月1日発売

メール添付ファイルのセキュア配送システム

“safeAttach Evolution ApplianceServer”

E-mailに添付する“電子ファイル”はセキュアですか？

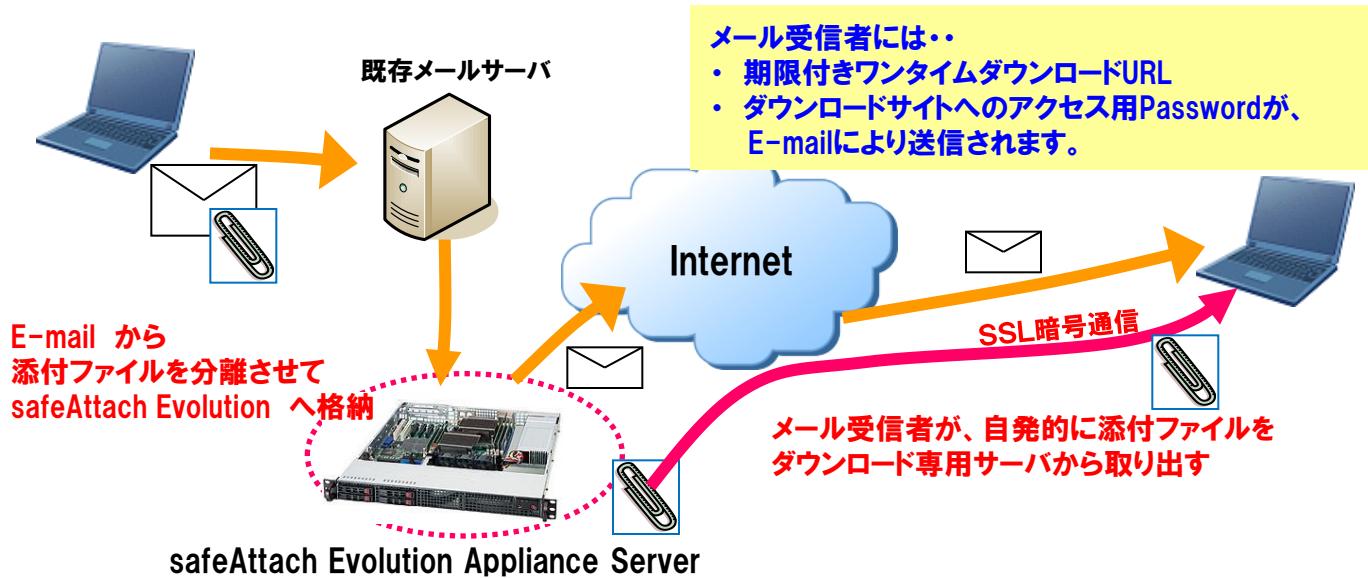
E-mailの添付ファイルに関する問題点

- ・ メール送信時に添付される情報について監査・検閲は実質出来ていない
- ・ ISMS・Pマーク等の指導で暗号化(パスワードZIP)があっても運用しきれていない
- ・ メール添付のファイルサイズ制限などありメール添付運用は限界である
- ・ インターネット上の無料ストレージサービスなどを容認し情報漏えいの心配があり 内部ネットワークから外部への情報漏えいルートとして制限したい希望がある

電子メールの添付ファイルを安全で大容量に運用する “SafeAttach Evolution”

【システム導入ポイント】

- ✓ システム導入に際して、利用者端末へのソフト導入は不要。従来通りの環境。
- ✓ 普段のE-mail通信で添付する電子ファイルを最大200MB程度まで拡大できるため、従来比で約100倍の添付ファイル運用が可能。
- ✓ 添付ファイルは、相手がダウンロードする際にSSL暗号通信にて実現するため、メール送信者が暗号化ファイル加工の手間を省略可能。
- ✓ 内部のファイルサーバに保存・バックアップする暗号化済みファイルが不要になりファイルサーバの容量増加が抑制され“コスト削減”が可能。
- ✓ 添付ファイル付きE-mailの“誤送信対策”を実現。
- ✓ 既存のOnePointWallシステムの“ファイルアップロード”系ポリシーの運用を補完。



製品のキーワード

- ✓ ISMS、プライバシーマークなどセキュリティ認証要件にある、外部向けのファイル送信に関する“暗号化運用”に対応。クライアントの負担と不安定さを解消。
- ✓ 野放し同然のE-mail添付ファイルと、インターネット上の無料ストレージサービスの利用実態を改善。外部向けの情報統制と証跡(ログ)管理が可能。
- ✓ システム管理者として、全クライアントに負担無く導入ができ、既存運用の利用範囲を拡大させられる。実務業務効率の改善と内部サーバシステムのコストダウンを同時に実現。

専用サーバの特徴

- ✓ 最新データセンタ仕様にも適合した、グリーンIT対応の省電力サーバ(ノートPC並みの待機電力を実現)で実装
- ✓ IPMIインターフェースを標準で搭載。遠隔地とのリモート制御を実現
- ✓ 仮想化技術を活用したソフトウェア実装にて、“セキュアネットワーク向け”と“公開セグメント向け”的ソフトウェアを1台のサーバに実装を実現。コストダウンを支援。

専用サーバ仕様

本体寸法 (mm)	幅×高さ×奥行き	426mm x 43mm x 558mm
質量		約13.2kg (最小構成)
プロセッサー		インテル XEON L3426 TDP 45W (1.86 - 3.2GHz)
主記憶 (RAM) 容量	標準容量	6GB (2GB x 3)
	最大容量	32GB DDR3 ECC Registered memory (RDIMM) in 6 DIMM sockets
HDD		500GB S-ATA II 2.5インチ Server専用HDD (MTBF 120万時間) × 4
イーサネット		2x Intel® 82574L Gigabit Ethernet Controllers 1x Realtek RTL8201N PHY (dedicated IPMI)
IPMI		IPMI 2.0 with virtual media over LAN & optional KVM-over-LAN support
電源		AC 100V (50/60Hz) 360W (待機時 消費電力 70W)
保証期間		1年

参考価格

- ✓ **safeAttach Evolutionアプライアンス 定価:3,200,000円**

※上記は、1000名前後の利用環境を前提にしています。2000名を超えるような大規模なお客様には、別途ご提案するプランがありますのでご相談ください。